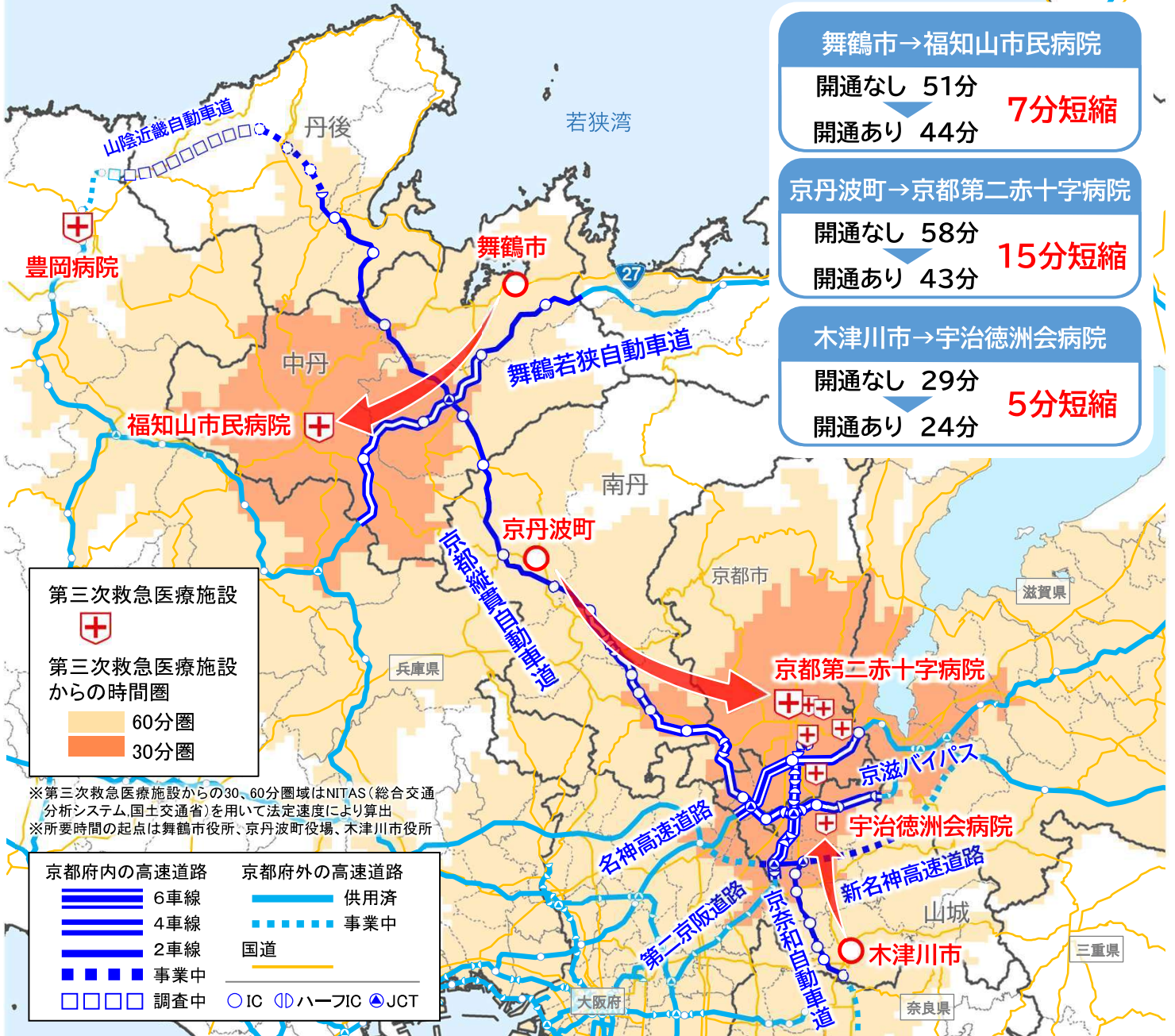


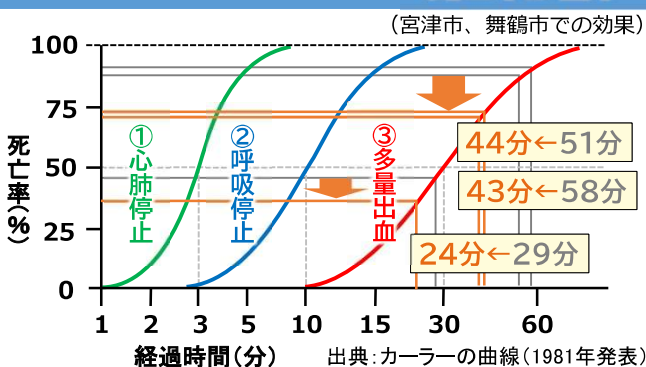
# 命を救う救急医療活動の支援

高速道路は、救急医療のルートとして、緊急搬送を支援します。高度医療を担う第三次救急医療施設からのアクセス時間が短縮されることにより、救急搬送時間が短縮し、緊急度の高い重症者の救命率向上に寄与しています。

## 第三次救急医療施設からの時間圏



## 所要時間短縮により多量出血者の死亡率が低下



### <舞鶴市消防本部>

患者の容態によって、第三次救急医療施設である**福知山市民病院**や**京都市内の病院**まで搬送することがあります。高速道路は、ブレーキによる患者への負担が少なく、渋滞や信号がないため**安定した緊急搬送**が可能です。

### <京丹波市消防本部>

舞鶴医療センターや京都市内の病院に転院搬送する際、高速道路を使用しています。第三次救急医療施設の豊岡病院への搬送の際は、現在一般道しかないため、**山陰近畿自動車道が開通すれば、搬送時間が短くなるため、「命のみち」として必要不可欠**です。

出典: R7.10京都府ヒアリング調査